

えんがわ 音楽祭

～ 水の音コンサート ～

奈良県 天川村 洞川温泉

川のせせらぎに合わせ、風のある昔ながらの縁側から優しい音色が流れてくる...

遠く歩きながら、そしてたたずむところが、それぞれの音楽家。

洞川温泉「えんがわ音楽祭」は今年で3年目、深まる秋のひとときをお楽しみください。

2017年

9月23日(土) **前夜祭**

9月24日(日)

お問い合わせ

洞川音楽祭実行委員会事務局
(奈良県地域振興課観光大和移住・交流推進室内)
0744-48-3016
〒634-0003 奈良県橿原市菅笠町605-5

宿泊の
ご案内

大室山洞川温泉観光協会
0747-64-0333

出演アーティスト

藤原道山 [尺八演奏家]
横田美穂 [フルート奏者]
桑山哲也 [ポタンアコーディオン奏者]
浅野 祥 [津軽三味線奏者]
山口岩男 [ウクレレ奏者]

主催：洞川温泉観光協会
協賛：大室山洞川温泉観光協会、大室山洞川温泉旅館組合、洞川地区・天川村・観光課

天川村洞川は奈良県の真ん中に位置する豊かな自然に囲まれた山村です。
1300年もの間、
修験道の行者の方々を受け入れ
大峯山への信仰を大切に守っている洞川は
今でも旅館は縁側を開放し、
旅人の疲れを癒し続けています。
「えんがわ音楽祭」は、そんな昔からの
息づかいが残された街並や
川のせせらぎを背景に開催されます。
ゆったりとした時の流れに、
やさしい音色や歌声が響き合うひとときを
お楽しみください。
みなさまのお越しを心からお待ちしております。



9月23日(土) 前夜祭

えんがわコンサート(第一夜)

会場 / 各旅館の縁側

20:00 横田美穂 / シェアオフィス西友

20:30 桑山哲也 / 行者の宿 負碁

9月24日(日)

メインコンサート

会場 / キャラリー橋のほの 村立資料館

14:00~16:00

藤原道山

横田美穂

桑山哲也

浅野 祥

山口岩男

えんがわコンサート(第二夜)

会場 / 各旅館の縁側

16:30 横田美穂 / 旅館 丸文

17:00 浅野 祥 / あたらしや旅館

17:30 山口岩男 / シェアオフィス西友

19:30 桑山哲也 / 花屋徳兵衛

20:00 藤原道山 / 旅館 久保治

大広間コンサート

会場 / 「観音住にしが」の大広間

21:00 出演者全員

スケジュールは予告無く変更になる場合がございます。



藤原道山 ふじわらどうさん [尺八演奏家]

10歳より尺八を始め、人間国宝 故 初代 山本松山に師事。東京芸術大学音楽学部器楽科卒業、同大学大学院音楽研究科修了。2004年アルバム「UTA」でCDデビュー。以来、これまでに古曲アルバム「響」、15周年記念ベストアルバム「道」、ウィーンにてレコーディングを行ったシロトキ弦楽四重奏団との共演アルバム「FESTA」他多数のCDアルバム、DVD、ブルーレイリリース。並行して、坂本龍一、野村真幸などアーティストとのコラボレーションを積極的に行う。ソロ活動では、映画「武士の一分」(山田洋次監督、喜劇監督)にゲストミュージシャンとして音楽に参加、「スーパー歌舞伎」(現代目付(時之助)の主演)、「つくでなし坂本」(山谷幸彦演出、「マクベス」(野村真幸構成・演出)、「ハムレット」(ジョン・ケート演出)などの舞台音楽を手掛ける。2015年には、15th anniversary concertをサンアリーナにて開催。山田和樹指揮、横浜シンプオニエッタとの共演を行う。現在、NHK Eテレ「にほんごであそび」にレギュラー出演中。2017年は、マリンビストSNSKとの全国ツアーの開催や、ピアノ、チェロ、尺八のユニットKOBUDO-古武道がデビュー10周年を記念、全国ツアー及びベストアルバムを発表。オフィシャルホームページ <http://www.dozen.jp/>



横田美穂 よこたみほ [フルート奏者]

フルート奏者。1982年生まれ。埼玉県出身。武蔵野音楽大学音楽学部器楽科卒業。桐原学園大学音楽学修士研究科修了。まるで歌うたのようなフルートの音色を奏で、フルーティストとして初めて5枚のオリジナルアルバムをリリース。これまでのフルートのイメージを変えようというコンセプトで、フルート本来の美しい音色を届け、親しみやすい音楽で世代を超えて楽しめるコンサートを開催している。コンサートでの聴きやすいプログラム好評。オリジナルの楽曲はテレビ等メディアでも多く使用されている。2016年4月よりニッポン放送「魔法のラジオ」(毎週 日-5:00-)にてパーソナリティを務め、テーマソング、音楽を担当。番組内で音楽ユニット「オトのハコネ」を結成し、ピアニスト佐々木祐子、チェリスト藤井厚貴、ギタリスト中村裕樹、パーカッショニスト今野孝太郎と共に「オトのハコネコンサート」を全国で展開。フルートの音色を中心に様々な楽器の響きで音色のアレンジメントで、フルート音楽の新たな可能性を追求している。2017年1月ニッポン放送「新春スペシャル」(毎週 土-15:00-)に「お正月特別番組」が放送される。2017年音楽雑誌「月刊KJIMA」2月号において連載「つくる」へ寄稿。3月、オールナイトニッポン.comにインタビューが掲載され、話題を呼ぶ。5月、KITTE丸の内「Holiday live in KITTE」にオトのハコネとして出演。好評を得る。オフィシャルホームページ <http://www.miho-yokota.com/>



桑山哲也 くわやまてつや [ホタンアコーディオン奏者]

1972年4月13日札幌生まれ。父、桑山貴司(作曲家・アコーディオン奏者)より6歳からアコーディオン(ピアノ/鍵盤楽器)を学ぶ。14歳の時、フランス屈指のアコーディオン奏者、故アタ・モンマルトル(アン・ド・アン・ド・アン)氏に師事。同時にホタンアコーディオンに転向。10代から札幌でプロ活動をはじめ、フランスのシャルトル・アコーディオン・フェスティバルへ、日本人最年少で出演。1999年に1stアルバム「ほくくのミュージック」を発表。2000年からは本格的なソロ活動をはじめ、情熱あふれる演奏力と抜き目出たテクニックで多くのファンを獲得。桑山哲也の演奏するアコーディオンは、ホタン鍵盤式で、その中でもベルギー製のものを使用しており、この種類のアコーディオンを演奏するのは、現在、日本において桑山哲也ただ一人である。近年では、海外からの招待アーティストの公演で、ゲストプレイヤー 兼 司会進行も務めると、エンターテインメント性溢れるトークの才能も発揮。妻で女優の藤田美子と共に、メディアにも多数出演。また、土曜ワイド劇場での脚本が決定しており、多岐にわたって活躍の場を広げている。2ndベストアルバム「CITRON」(シトロン)が発表中。オフィシャルホームページ <http://kuwayamafestiva.com/>



浅野 祥 あさのしょう [津軽三味線奏者]

宮城県仙台市出身。祖父の影響により、3歳で菊太鼓、5歳で津軽三味線を始める。その後、三輪小田島流 二代目小田島徳次氏に師事。7歳の時、音楽界で開眼される津軽三味線全国大会に最年少出場し、翌年から各級の最年少優勝記録を次々と塗り替える。2004年 津軽三味線全国大会 最優秀のA組で最年少優勝。その後、2006年まで連続優勝し3連覇を達成し、殿堂入りを果たす。海外でも活躍の場を広げる。2016年1月8日には「志治が迎えている」で演歌歌手デビュー。各界の第一線を走り続ける若者たちが、ジャンルを超えてコラボレーションする「響」と音楽の質を「響」と「クレメンティア」シリーズの第3弾、「Clementia Vol.3」-総集編-に入れること、真容一にも出演。また、2011年から行われているコレオグラフィアー(国村信)のコンセプト「Legend TOKYO」(レジェンドトーキョー)の歴史を語りつづける「響」が、行われたIFINAL LEGEND VJにもゲスト出演。ヒップホップと津軽三味線の響けを組み合わせるなど観客を魅了するなど本来の民族、古典音楽はもたらさん、ジャンルを超えて活動を広げている。2017年デビュー10周年を記念、古典や民族を学び伝承を目標しながら、楽器としての津軽三味線の可能性を追い求め続けている。オフィシャルホームページ <http://sho-asano.com/>



山口岩男 やまぐちいわお [ウクレレ奏者]

山形県天童市出身。ギタリスト、シンガー・ソングライター、ウクレレ奏者。夢が海の近く暮らし、海風の音を千太郎ウクレレで表現するナチュラル・アコースティック、ウクレレ奏者としては、ハーブ・オーガニック、ジェイク・シマブクロなどと共に演奏するほか、ハワイ、ニューヨーク、タイ、オーストラリア、韓国、台湾などで演奏する。ギタリストとしては、渡辺真二、森山直太郎、ケツメイシなどトップ・アーティストのツアーをはじめ、多数のレコーディングに参加。2017年5月、ハワイのグラミー賞と称される「ナ・ホ・ホ・ノ・アワード」(最優秀インディペンデントアルバム)に、アルバム「Slow Music」(slow's Hawaiian Collection 1)がノミネートされる。オフィシャルホームページ <http://wao-breeze.com>

